

1. 研究室概要

大学名	埼玉大学		研究者	王 青躍
			職位	准教授
研究領域	大気汚染等に関する環境影響評価		窓口担当	AMI 研究開発拠点(綿貫)
研究キーワード	人体影響化学物質、大気汚染物質、花粉アレルギー、環境計測、環境化学工学			
住所	埼玉県さいたま市桜区下大久保 255			
電話	048-858-3849	E-mail	coic-sangaku@ml.saitama-u.ac.jp	
FAX	048-858-9419	URL	http://www.env.gse.saitama-u.ac.jp/wang_oseiyo	

2. 技術PR事項

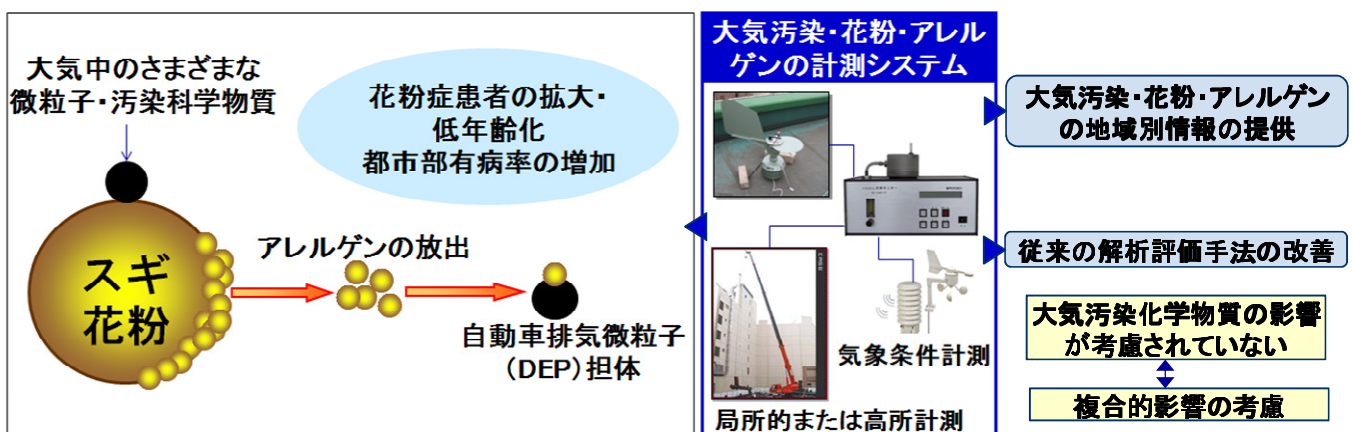
『貴方の住む町の大気汚染・花粉・アレルギーの複合情報を提供します』

都市部や住宅地域における上空、局所または高所の大気汚染物質・花粉・微細なアレルギーの複合的情報の計測システムを構築し、地域住民や花粉症患者向けの住宅・生活環境のための情報サービスを提供します。

1. 大気汚染・花粉・アレルギーの複合的情報提供システムの概要

これまでに、花粉症というと、30ミクロン程度の大きなスギ花粉粒子により花粉症が発症するとされてきましたが、実際に1ミクロン以下の微細な大気浮遊粒子状物(花粉アレルギー含有粒子)も原因と考えられます。

住宅・生活空間を評価していく上で、実大気中におけるスギ花粉粒子およびアレルギー含有粒子の飛散挙動や大気浮遊粒子状物質の鉛直分布等を把握する技術が求められており、特に、それぞれの環境動態解析から得られた環境情報と住宅・建造物の構造や気象条件と関連づけた情報提供システムの構築は大変重要です。



2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆気象条件を配慮して住宅地域における大気汚染や花粉・アレルギーの計測や情報化システムのための分析機器設置などの共同プランニング、マーケティングなど、共同研究や事業化のお手伝いをいたします。
- ◆住宅・生活空間に関する大気汚染・花粉・アレルギー等の環境情報についてのご相談をお待ちしています。

3. 特記事項

- 代表論文: Release behavior of small sized daughter allergens from *Cryptomeria japonica* pollen grains during urban rainfall event, *Aerobiologia*, Vol. 28, (2012) (doi: 10.1007/s10453-011-9212-4).